

平成27年10月25日執行
宮城県議会議員一般選挙

選挙公報

気仙沼・本吉選挙区
宮城県選挙管理委員会

略歴

昭和45年 早稲田大学政経学部卒
卒業後、家業(遠洋漁業)に従事
昭和55年 (社)気仙沼青年会議所理事長
平成7年 宮城県議会議員初当選
平成20年 県監査委員
平成21年～23年 第36代宮城県議会議長
平成24年～現在 大震災復旧・復興対策調査特別委員会委員長

昭和21年9月9日生(69歳)
旧唐桑町出身
現住所: 気仙沼市川原崎182
電話: 0226-22-2048



E-mail: riaskazu@k-macs.ne.jp



畠山 かずまさ

はたけ やま
自由民主党公認

「経験と実績、そして信頼」

復興完遂

未来に向けて～これから取り組み～

復興事業の速やかな進捗

- 安心・安全に暮らせる住居の確保と、あたらしい町づくり、地域コミュニティの再生と創造
- 漁港や農地など被災した産業基盤の整備促進
- 三陸道・大島架橋など災害緊急時に応える交通体系、道路網の早期完成

人口減社会への対応(総合戦略の推進)

- 広域観光や、若い世代の移住・定住政策の推進と交流人口の拡大による商店街などの町の活性化
- 安心して暮らせる、保健・福祉・医療連携による地域包括ケア体制の構築による高齢者対策と子育て支援の充実
- 未来を担う人材の育成、防災教育の充実、心豊かな地域社会を育む教育・文化・スポーツの振興

産業の振興

- 沿岸から遠洋漁業までの構造改革による水産業の振興
- 農地の集約化や県産材の活用、6次産業化による販路拡大による水産加工業、製造業など地域中小企業の振興
- 雇用対策の推進と地域資源を活用した新商品開発、販路拡大による水産加工業、製造業など地域中小企業の振興
- 賠償金の早期支払いや新たな市場開拓など風評被害対策の継続

復興最前线

県議会で取り組みたいこと!

- 国・県・市町の間にひずみが出ないように、協調とアプローチを旨として、切れ目ない復興に取り組みます。
- 地方創生への取組は、『特色ある自立』と『地域連携』が重要です。
魅力ある地域再生に県と住民の調和をもって推し進めます。
- 障がいの方々・高齢の方々が暮らしやすい社会を目指します。
(例)…気仙沼・南三陸圏域初の就労継続支援A型事業所の設立を支援します。
- 文化・スポーツ環境の充実に取り組みます。
地域の生きがいの元は文化でありスポーツです。
スポーツや芸術をして楽しむ、見て楽しむ、応援して楽しむ。
そんな『健康で元気な地域』を作ります。

私は不退転の覚悟で臨みます!

平成27年度で集中復興期間が終了し、平成28年から平成32年までの5年間は、被災3県で総額6.5兆円の復興予算が示されました。この期間は、被災地にとって非常に大事な期間であります。
私は、市議会議員として課題のある場所や意見がすれ違う場所へ度々と出向いて感じ取ったことがあります。それは、事業推進の主管である県と「住民の意思」や「地域の事情」が平行線をたどる場面における市議会議員としてのアプローチする発言の力です。より良い復興を目指すうえでは、しっかりと調整と調和をはかることが、諸事業の前進につながると確信します。
また、被災地の復興と再生には、「特色ある自立」と「地域連携」が重要です。地方創生は地域同士が競争するのではなく、地方と地方や都市部が連携する事で1+1が3や4になります。
そして、一人一人が『ワンフォーオール・オールフォーワン』の心で!
私は、市議会から県議会へ活動の場を移し、取り組んでいかなくてはと決心しました。

「私の信念」

1. 行動力

課題に対しても行動します
《汗をかくことが生きがいです》

2. 現場主義

住民目線で現場に臨み課題解決に取り組みます。
《作業服議員で活動》

3. 即戦力

市議会で復興事業を実践してきた「経験と実績」で地域づくりに全力疾走します。
《エネルギーッシュに》



守屋 もりや

自民党・公明党推薦

復興に全力! 平和を守る!



さかい つかい つねはる

お年寄りも、現役世代も、子ども達も、一緒に明るく笑顔で暮らせる街をつくることが私の目標です。

プロフィール

境 恒春 さかい つねはる

36歳

1979年3月25日気仙沼市生まれ A型

気仙沼小学校・気仙沼中学校・気仙沼高等学校卒業

慶應義塾大学法学部政治学科(通信教育課程)在学中

好きなスポーツ:卓球・サッカー

特技:珠算初段・暗算十段

役職:維新の党宮城県総支部副代表

NPO法人日本ベトナム障がい者支援センター理事

気仙沼卓球協会理事



維新の党公認

私は政府と党が推し進めている安全保障関連法案には、断固反対の立場をとり、政権交代による安保法案の廃案を目指します。

安全保障関連法案反対

医療と福祉の充実

私は政府と党が推し進めている医療・福祉・介護の連携構築による高齢者と障がいのある方のケアの充実・被災された方々への心のサポートする特定非営利活動法人や団体との連携と継続的な支援の構築

生の再建

私は政府と党が推し進めている防災・農地と漁港の早期復旧・新たな産業の創出による雇用の確保・事業を再開した企業への販路回復と風評被害対策支援

元・県職員が地方を新しく変える！



齊藤みつや
さいとう
みつや

齊藤 巳寿也

さいとう みつや

50歳

行政書士

プロフィール

昭和40年 気仙沼市赤岩館森生まれ
松岩小学校、松岩中学校卒業
気仙沼高校卒業
昭和62年 山形大学人文学部卒業
平成 2年 宮城県庁に入庁(上級職採用)
平成10年 志津川町役場に勤務
志津川町と歌津町の合併前に総合計画をつくる
平成27年 宮城県庁を退職(勤続25年、定年まで10年残す)
気仙沼市赤岩館森に現在住む

- 被災者の仮設生活からの解放と安心・希望の回復
- 水産業・商工業の産業経済の再生と雇用創出
- 高齢者福祉や子育て支援の充実と人口減対策

重点的取組

- 1 国や県との太いパイプ役になれます
- 2 行政と互角な交渉力があります
- 3 行政経験により即戦力となれます

3つの強み

勇気をもって防潮堤問題に立ち向かう！



山崎さとる
やまざき
さとる

山崎さとる プロフィール

- ◇ 東京都生まれ(昭和43年7月4日) ◇ 防災士
- ◇ 早稲田大学大学院から英国ロンドン大学大学院に転学 修了(環境学修士)
- ◇ 元 東京都江戸川区議会議員
- ◇ 震災後から気仙沼でボランティア活動
仮設住宅での生活支援、防災集団移転・地域振興をサポート
- ◇ 妻・子(小5)とともに気仙沼へ移住
(PTA厚生部役員)

私は、大震災の年の7月に復興支援のボランティア団体の現地統括として赴任・駐在してまいりました。以来、この地の人柄の暖かさや自然の素晴らしさに魅せられ、妻・子とともに移住してまいりました。私達や孫子をはぐくんでくれる自然・風土を守ることなくして三陸の未来を語ることはとてもできません。私にとっての新たなふるさとを、皆さんとともに守り育していくために、私は全力を尽くしてまいります。

- 私が県議になつたら
- 防潮堤建設を見直すよう、私がリーダーとなつて県に訴えて参ります。私にやらせてください。
- 上からの「一方通行」の県政を改めます。本来、県は市・町の住民の意向を応援し実現させるのが役割です。
- 復興を加速させ、三陸道の開通を生かして仙台・松島・南三陸・気仙沼を一体とした観光関連産業の振興に力を入れ、雇用拡大への突破口を開きます。
- 私が議員を務めていた東京都江戸川区などと連携し、地域振興を進め、更に、三陸の物産品や文化の魅力を海外にまで伝え、三陸を活気ある街へとしていきます。

「防潮堤なんかいらないんだよ・・・」

10月25日(日)は、



宮城県議会議員一般選挙の投票日です。

◎投票日当日、投票ができないときは、期日前投票または不在者投票をしましょう。

(10月24日(土)まで)

◎投票所の入場券が届いていない場合やなくしてしまった場合でも、選挙人名簿に登録されているご本人であることが確認できれば投票できます。